



ニュース 環境 NEWS

2022年1月号 (No.22)

環境清掃課
〒443-0105
西浦町口田土1番地
TEL 0533-57-4100
FAX 0533-57-3924

今回のテーマ

カーボンニュートラルと自動車

蒲郡市では地球温暖化防止対策に向けた取り組みとして、市民一人ひとりが地球温暖化問題に対する関心を高め、環境にやさしい行動をとっていただけるように、地球温暖化対策に関する様々な情報を、「環境NEWS」として月1回発行してまいります。

次世代自動車とは？

次世代自動車とは、窒素酸化物(Nox)や粒子状物質(PM)等の大気汚染物質の排出が少ない、またはまったく排出しない、燃費性能が優れているなどの環境にやさしい自動車です。一般的に、燃料電池自動車(FCV)、電気自動車(EV)、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車(HV)、プラグインハイブリッド自動車(PHV)、クリーンディーゼル自動車(CDV)などを指します。
(環境省 次世代モビリティガイドブック2019による)

燃料電池自動車「MIRAI」を導入し、出発式を開催しました

蒲郡市では、カーボンニュートラルの取り組みをより一層推進するため、公用車に燃料電池自動車(FCV)「MIRAI」を導入し、令和4年1月19日(水曜日)に出発式を開催しました。

式では、「MIRAI」を納車いただいた名古屋トヨペット様よりレプリカキーの受け渡しが行われ、その後、市長の運転により出発しました。



レプリカキーの受け渡し



出発の様子

蒲郡市の取り組み

燃料電池自動車(FCV)以外にも、蒲郡市では公用車へ次世代自動車の導入を計画的にすすめています。今年度、上記の燃料電池自動車「MIRAI」のほかに、電気自動車を2台、プラグインハイブリッド自動車を1台導入し、あわせて、電気自動車を4台、プラグインハイブリッド自動車を2台、ハイブリッド自動車を4台導入しています。

来年度以降も公用車の入れ替えや新車購入時に電気自動車等を導入し、国の目標と同様、2035年までに入替可能な公用車においては100%電動化を目指します。

おもな次世代自動車とその特徴

次世代自動車のうち、以下の4車両は一般的に「電動車」と呼ばれています

燃料電池自動車(FCV)

燃料電池自動車(Fuel Cell Vehicle)は、燃料電池で水素と空気中に存在する酸素を化学反応させて電気をつくり、その電気でモーターを回して走行する自動車です。走行によって排出されるのは水のみで、温室効果ガスや大気汚染物質をまったく排出しないことから、「究極のエコカー」とも呼ばれています。

電気自動車(EV)

電気自動車(Electric Vehicle)は、車載のバッテリーに充電した電気を使用して、電動モーターを動力源として走行する自動車です。100%電気で走行することから、燃料電池自動車同様、走行時に温室効果ガスをまったく排出しません。

ハイブリッド自動車(HV)

ハイブリッド自動車(Hybrid Vehicle)は、複数の動力源を組み合わせることで、低公害・低燃費を実現させる自動車です。エンジンと電気モーターを組み合わせたハイブリッド自動車が現在では主流です。

プラグインハイブリッド自動車(PHV)

プラグインハイブリッド自動車(Plug-in Hybrid Vehicle)は、ハイブリッド自動車に対し、外部から電源をつないで充電ができるハイブリッド自動車です。そのため、ハイブリッド自動車と比較して、電気モーターだけで走行できる時間が長いことが特徴です。

次世代自動車に関する国の動き

…電動車

右の図は、2019年の新車乗用車販売台数の実績です。新車乗用車販売台数のうち、2019年では次世代自動車が39.2%、そのうち電動車が35.1%を占めています。

政府は、「2035年までに新車販売で電動車100%を実現する」と表明しています。

海外においても、英国では2030年までに、米国カリフォルニア州では2035年までに内燃機関を搭載した車の販売を禁止する方針で、世界的な動きとなっています。

2019年 新車乗用車販売台数(実績)	
従来車	60.8%(261.4万台)
燃料電池自動車	0.02%(685台)
電気自動車	0.49%(2.1万台)
ハイブリッド自動車	34.2%(147.2万台)
プラグインハイブリッド自動車	0.41%(1.8万台)
クリーンディーゼル自動車	4.1%(17.5万台)

一般社団法人日本自動車工業会「日本の自動車工業2020」を基に作成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

